

米空軍横田飛行場におけるPFOS等を含む水の漏出について

令和6年10月18日付広資料第104号及び同月31日付広資料第114号でお知らせしたこのことについて、防衛省北関東防衛局から、下記1のとおり口頭要請に対する回答がありましたので、お知らせします。

また、防衛省北関東防衛局から、下記2のとおり情報提供がありましたので、併せてお知らせします。

記

- 1 口頭要請に対する回答内容
別紙1のとおり
- 2 横田飛行場南西部の排水口付近における水質分析結果について
別紙2のとおり

令和6年11月19日
防 衛 省

口頭要請に対する回答

令和6年10月17日及び同月30日付け口頭要請について、以下のとおり回答します。

1 10月17日の口頭要請1及び同月30日の口頭要請について

- 横田飛行場周辺の公共用水域における現状を確認するため、10月30日に水質調査に係る契約を締結し、11月5日に横田飛行場南西部の排水口付近において採水を行いました。
- 本日（19日）、水質調査の結果が判明し、PFOS及びPFOAの値は、その合計で28ng/Lであり、水環境中の指針値（暫定）を下回る数値でした。水質調査の結果については北関東防衛局のホームページにおいて掲載しました。
- 横田飛行場内のPFOS等漏出に係る地下水への影響については、日米の関係者において、様々な場を活用して、米側と協議を進めてきているところです。防衛省としては、環境省の専門家会議における検討等を踏まえ、引き続き、米側及び関係省庁と連携しつつ、対応してまいります。

2 10月17日の口頭要請2及び3について

- 短期的な再発防止策及び包括的かつ長期的な対応策の検討状況を含めた米側の取組については、引き続き、米側に確認しています。情報が得られ次第、地元の皆様に提供いたします。
- PFOS等に係る米側の取組として、11月15日、在日米軍は、泡消火薬剤の交換に関する取組状況をホームページに掲載しています。横田飛行場においては、米側から、本年5月末までに旧式の泡消火薬剤の廃棄を完了しており、また、置き換えられた新式組成の泡消火薬剤については、原料にPFOS、PFOA及びPFHxSのいずれも含まれていない旨、説明を受けています。

以 上

横田飛行場におけるPFOS等を含む水の漏出について（口頭要請）

令和6年10月3日、北関東防衛局から、「8月30日に横田基地の消火訓練エリアから、PFOS等を含む泡消火薬剤の残留を含む水があふれ出し、施設外へ出た蓋然性が高い」との情報が提供されました。これを受け、当協議会は、10月4日、国に対して、詳細な情報の迅速な提供や国の責任による公共用水域等への影響の調査などを要請しました。

この要請の回答として、令和6年10月16日に、北関東防衛局から、「10月3日に通報を受けて以降、米側に対して事案の詳細について速やかな情報提供を求めていたところ、米側から追加情報を得られた」との情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供されました。

この情報は、消火訓練エリアの位置や横田飛行場外へ出た場所、貯水池のPFOS等の濃度（2023年11月測定）、残留していた理由、再発防止対策等を含むものです。しかしながら、現在の貯水池に溜まっている水のPFOS等の濃度や水の処分方法、包括的かつ長期的な対応策の具体的内容が示されていません。また、国の責任による周辺環境への影響の確認や、米軍の取組の確認が行われていません。

については、貴職においては、このような状況を十分認識し、次のとおり対応するよう要請します。

- 1 国の責任において、公共用水域等に流れ出たとされている箇所の水質検査を直ちに実施し、その結果を速やかに公表すること。
また、基地内で発生したPFOS等漏出に係る地下水等への影響について調査・分析・評価を行い、その結果を公表するとともに必要な対応を行うこと。
- 2 国の責任により米軍の取組を確認するとともに、引き続き、再発防止策の実施状況等を含めた情報提供などを行い、基地周辺住民の不安の解消に取り組むこと。
- 3 貯水池に溜まっている水の処分について、安全に万全を期し、迅速かつ適切に実施するとともに、包括的かつ長期的な対応策を明らかにし、確実に実行されるよう米軍に要請すること。

令和6年10月17日

防衛大臣 中谷 元 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	福生市長	加藤	育男
	立川市長	酒井	大史
	昭島市長	白井	伸介
	武蔵村山市長	山崎	泰大
	羽村市長	橋本	弘山
	瑞穂町長	杉 浦	裕 之

横田飛行場における PFOS 等を含む水の漏出について（口頭要請）

令和6年10月3日、北関東防衛局から、「8月30日に横田基地の消火訓練エリアから、PFOS 等を含む泡消火薬剤の残留を含む水があふれ出し、施設外へ出た蓋然性が高い」との情報が提供されました。これを受け、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、国に対して、10月4日の要請に引き続き、10月17日、国の責任において周辺環境への影響の確認や米軍の取組を確認することなどを要請しました。

PFOS 等については、多くの都民が健康への影響などについて不安を抱いており、早急に払しょくする必要があります。都は、10月3日の情報を受け、速やかに横田基地周辺の公共用水域において調査を実施し、全ての調査地点の測定結果は国が定める暫定指針値（PFOS 及び PFOA の合算値で 50ng/L）を下回っていることを確認し、本日、ホームページ等で公表しました。

貴職においても、迅速な対応が求められている状況を十分認識の上、公共用水域等に流れ出たとされている箇所の水質検査を直ちに実施し、その結果を速やかに公表することなど、本年10月17日付で要請した内容について、早急に対応するよう改めて要請します。

令和6年10月30日

防衛大臣 中谷 元 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	福生市長	加藤	育男
	立川市長	酒井	大史
	昭島市長	白井	伸介
	武蔵村山市長	山崎	泰大
	羽村市長	橋本	弘山
	瑞穂町長	杉浦	裕之

(お知らせ)

令和6年11月19日
北 関 東 防 衛 局

横田飛行場南西部の排水口付近における水質分析結果について

8月30日に発生した横田飛行場の消火訓練エリアからのPFOS等を含む水の漏出事案に関して、北関東防衛局において、同飛行場南西部の排水口付近において水質の調査を行いました。PFOS及びPFOAの含有量に関する分析結果は別紙のとおりです。

防衛省としては、引き続き、在日米軍、関係省庁及び関係自治体と連携し、適切に対応してまいります。

(別紙)

1. 分析結果

(単位：ng/L)

採水日	P F O S	P F O A	合算値
令和6年 11月5日	19	9.2	28

※1 数値は端数処理の関係で整合しない場合がある。

※2 水環境中の指針値（暫定）は、P F O S 及びP F O A の合算値で50 ng/L。

なお、水環境中の指針値（暫定）は、人が生涯にわたり連続的な摂取をしても健康に影響が生じない水準をもとに安全性を十分考慮して、環境省において設定したものである。

2. 採水位置図



出典：国土地理院空中写真を加工して使用